



## Alto Venova™ YVS-120

取扱説明書

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manual de instrucciones

Manual do Proprietário

Руководство пользователя

使用说明书

사용설명서

日本語

English

Deutsch

Français

Español

Português

Русский

中文

한국어



## 取扱説明書

### ごあいさつ

このたびはヤマハAlto Venova™(アルトヴェノーヴァ)をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

ヴェノーヴァはリコーダーに似たシンプルな指使いで、リード楽器の表現力をお楽しみいただける新しい管楽器です。従来の管楽器に比べて壊れにくくメンテナンスも容易です。しっかりと落ち着いた低音が魅力のアルトヴェノーヴァで新しい素敵な音楽生活をお楽しみください。

この楽器の性能を十分に活かし、また長く良い状態でお使いいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いします。

- \* 本書では、ヤマハAlto Venovaの取り扱い上の注意事項やお手入れ方法について記載しています。ヤマハAlto Venovaの基本的な演奏方法については、別冊の「Venova™を吹いてみよう!」をご覧ください。

### 目次

安全上のご注意 .....	3
各部の名称 .....	5
演奏の前に .....	7
演奏の後に .....	8
お手入れ用品とアクセサリのご案内.....	9

\* 「Venova™」および「」はヤマハ(株)が製造販売する分岐管型管楽器であり、ヤマハ(株)の登録商標です。

## 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意喚起を示す記号
	禁止を示す記号

### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

### 取り扱い



禁止

楽器を人に向かって投げたり、振り回したりしない。

マウスピースや部品が抜け、相手の体に当たるなどして危険です。楽器はいつもやさしく扱ってください。



禁止

楽器の上に乗ったり重いものをのせたりしない。

楽器が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

ケースやケースストラップをむやみに振り回さない。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

## ■ 注記(ご使用上の注意)

楽器の故障、損傷を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### ● 楽器の取り扱いに関する注意

- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。楽器の変形や変質の原因となり、演奏に支障を生じるおそれがあります。
- ・ 楽器の上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。楽器が変色/変質する原因になります。

### ● 楽器のお手入れに関する注意

- ・ お手入れの際、ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用しないでください。楽器が変色/変質する原因になります。
- ・ 楽器を煮沸したり食洗機に入れたりしないでください。楽器の変形や変質の原因となり、演奏に支障を生じるおそれがあります。

## ■ 長くお使いいただくために

楽器を良いコンディションで長くお使いいただくために、以下の事項を心掛けてください。

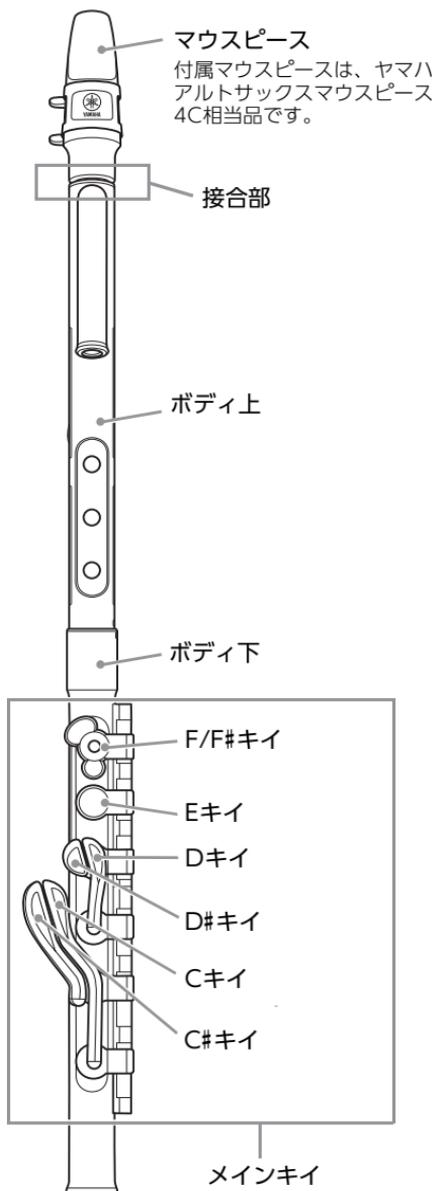
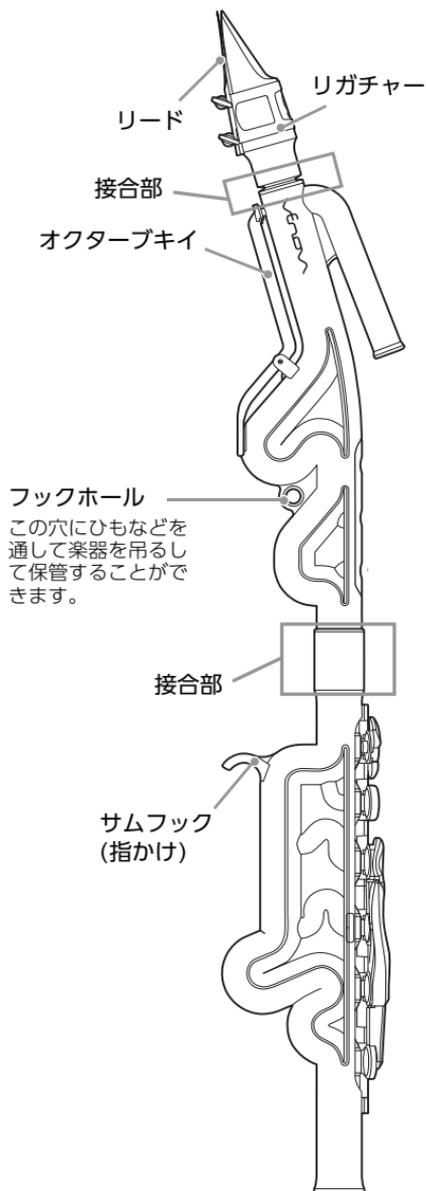
- ・ 組み立て前に、ボディの接合部のホコリや汚れを布で拭き取っておきましょう。
- ・ 演奏後は水分をよく取り除きましょう。
- ・ 定期的に楽器の点検・お手入れをしましょう(8ページ)。

\* この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

### 音のエチケット

美しい演奏は人にさわやかな感じを与えます。でも練習中の音は時には気になる人もいらっしゃるかもしれません。ご近所との日頃のお付き合いとともに、ご迷惑にならないように気を配りましょう。

# 各部の名称

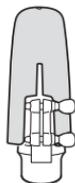


## ■ 同梱品

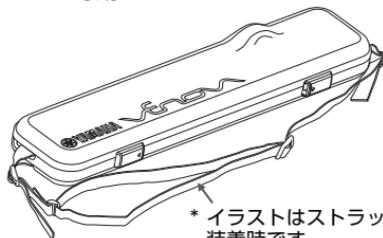
- ・マウスピースキャップ×1



- ・リードとマウスピースは傷がつきやすいので、演奏しないときや演奏の合間にも必ずマウスピースキャップをはめるようにしましょう。



- ・専用ケース×1
- ・ケース専用ストラップ×1



\*イラストはストラップ装着時です。

- ・専用クリーニングスワブ (ボールチェーン付)×1



- ・取扱説明書(本紙)×1
- ・Venova™を吹いてみよう! ×1

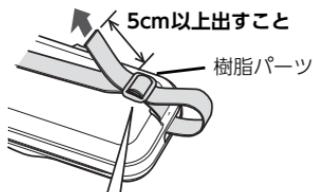
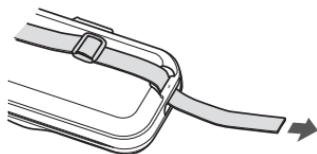
### 専用ケースへのストラップの取り付けかた

持ち運びに便利なケース専用ストラップを同梱しています。

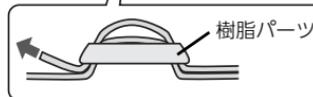
ストラップを取り付ける場合は、必ず右図の手順で**確実に取り付けてください**。

取り付けが正しくないと、ストラップがケースから外れて楽器やケースを破損するおそれがあります。

また右図のように、ストラップの先端が樹脂パーツから**5cm以上**出るように取り付けてください。使っているうちにこの部分が短くなることがありますので、定期的に確認し常に5cm以上の状態にしておいてください。



樹脂パーツ



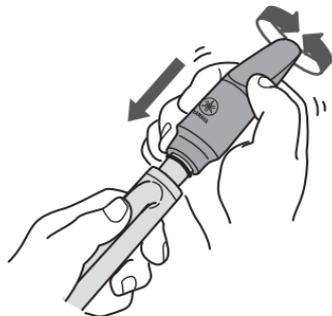
樹脂パーツ

# 演奏の前に

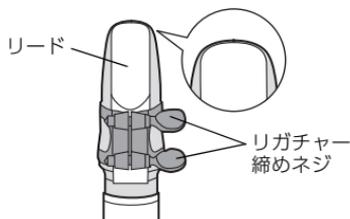
## ■ マウスピースの取り付け方

取り付け前に、接合部のホコリや汚れを布で拭き取っておきます。

- 1 マウスピースをしっかりと持ち、左右に回しながらボディの接合部に差し込みます。
  - 取り外す際も左右に回しながら引き抜いてください。まっすぐに抜き差しすると、接合部のゴムを破損するおそれがあります。



- 2 リガチャーは、マウスピースの上から差し込んでおきます。
- 3 マウスピースにリードを取り付けます。  
マウスピースの先端がほんの少し見える位の位置にリードをセットしたら、リガチャー締めネジ(2ヶ所)を締めてリードを固定します。

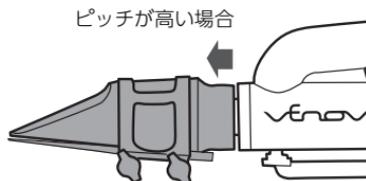


マウスピースへのリードの詳しい取り付け方は、別冊の「Venova™を吹いてみよう!」をご覧ください。

## ■ チューニングについて

チューニングする場合は、マウスピースを抜くことで音程を下げるができます。管内の温度によって音程は微妙に変わりますので、息を吹き込んで十分に温めてからチューニングを行ないましょう。

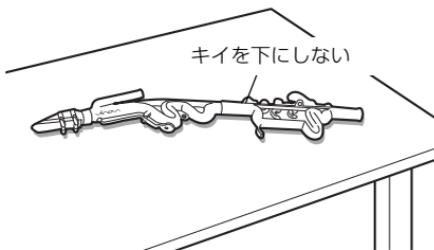
- マウスピースを抜きすぎないように注意してください。抜きすぎると音程のバランスが変わったり、音が出にくくなる場合があります。



抜き過ぎないように注意

## ■ 楽器の置き方

演奏中などに楽器を置く場合は、平坦な机の上などに、下図の向きで置いてください。椅子や譜面台など、不安定なところに置くと、落下などのおそれがあります。また、壁などに立て掛けることもおやめください。



## ■ 楽器のお手入れ

- 演奏後は、必ずリガチャーをゆるめリードをマウスピースから外し、ガーゼなどで水分を拭き取ります。リガチャーもマウスピースから外しておきます。
  - マウスピースの先端を傷つけないように注意してください。
- マウスピースをボディから外し、柔らかい布でマウスピース内部を掃除します。
  - マウスピースを取り外す際は、左右に回しながら引き抜いてください。まっすぐに抜き差しすると、接合部のゴムを破損するおそれがあります。
- ボディは上と下を接合部で離し、付属のクリーニングスワブでそれぞれ管内を掃除します。
  - ボディ上とボディ下を外す際は、左右に回しながら引き抜いてください。まっすぐに抜き差しすると、接合部のゴムを破損するおそれがあります。

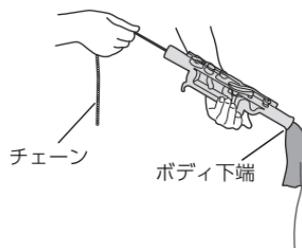
### クリーニングスワブの使い方

- 1 ボディ上の場合には吹口側の穴から、ボディ下の場合にはボディの下端側の穴から、チェーンがついたほうの紐をボディ管内に入れます。
- 2 ボディを揺らして、入れた側と反対の穴からチェーンの先を出します。
- 3 チェーンをゆっくりと引いて、管内の水分や汚れをスワブでふき取ります。
  - スワブを一気に引き抜くと、管内でスワブが詰まるおそれがあります。
  - クリーニングスワブは常に清潔に、乾燥させておきましょう。

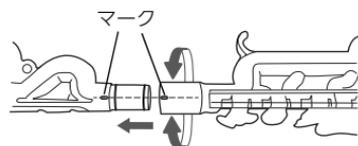
### ボディ上の場合



### ボディ下の場合



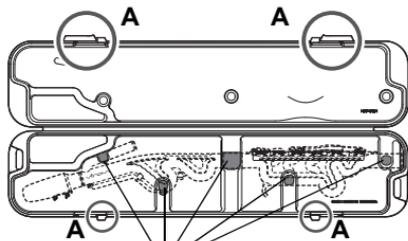
- 4 ボディ接合部の水分や汚れを、柔らかい布でふき取ります。
- 5 側面のマークが合うように、ボディ上とボディ下を接合します。



- 外す際と同様、接合する際も、左右に回しながら差し込んでください。
- ボディの表面は、キイなどに強い力を加えないように注意しながら、柔らかい布で汚れや油分を拭き取ります。
- マウスピース、ボディは水洗いも可能です。水洗い後は、クリーニングスワブや柔らかい布で水分をよくふき取ってください。

## ■ ケースへのしまい方

- 楽器をケースにしまう際、マウスピースはボディにまっすぐに差し込んだ状態にしましょう。マウスピースの取り付け方は、7ページをご覧ください。マウスピースが曲がった状態で無理にケースにしまうと、リガチャーやマウスピース、ケースの変形や破損の原因となります。



ケースの色が着いた箇所に楽器が接触するように収納してください。

- マウスピースはボディにまっすぐ差し込んだ状態にしてください。
- ケースの上フタの錠前部分(上図A)はケースより少し出ています。服やスワブなどを引っ掛けて楽器やケースを落としたりしないように注意してください。

## ■ 保管上のご注意

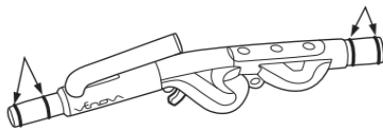
保管する場合は、楽器に付いた水分や油分、汚れなどをきれいに拭き取り、ケースに入れましょう。保管場所は、極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところを避けてください。

## ■ リードについて

リードの先端が破損したり、うまく振動しなくなった場合は新しいものに取り替えてください。本体付属の樹脂製リードだけでなく、葦製のリードもご使用いただけます。

## ■ 接合部のゴムについて

接合部のゴムは使用状況によって、ゆるくなったり破損する場合があります。その場合は新しいものに取り替えてください。



## お手入れ用品とアクセサリのご案内

素敵なミュージックライフのために、ヤマハでは、いろいろなアクセサリを取り扱っています。

ここではAlto Venovaに関するものをご紹介します。ぜひ、ご活用ください。

品名	特徴・使用方法
Alto Venova 専用スワブ	Venovaのボディ内面の水分や汚れをきれいに取ります。
Alto Venova 専用樹脂製リード	Venova専用の樹脂製リードです。
マウスピースパッチ(M)	アンブシュアを安定させ、歯による摩耗からマウスピースを守ります。

YAMAHA CORPORATION

10-1 Nakazawa-cho, Naka-ku,  
Hamamatsu, 430-8650 Japan

---

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Group

© 2019 Yamaha Corporation

Published 04/2019 2019年4月发行

POPI-B0

JA EN DE FR ES PT RU ZH KO

VCS7480